株主のみなさまへ

第111期
事業報告書

平成16年4月1日～平成17年3月31日

SHARP

独自デバイス技術を駆使したオンリーワン商品の拡充を柱に、企業価値の増大に努めます

第１１１期の事業報告書をお届けするにあたり、株主みなさまの平素のご厚情に、心からお礼申しあげます。

製品開発の強化と安定した供給体制を構築します

当期のわが国経済は、輸出の増加や、民間設備投資の伸長などにより、前半は、概ね堅調に推移しましたが、後半に入り、増勢が続いた輸出の伸びが鈍化し、IT関連を中心とした在庫調整の影響で生産にも停滞感が見られるなど、景気は減速傾向を示しました。一方、海外においては、米国やアジア諸国の景気が順調に拡大し、欧州各国の経済も回復基調を辿りました。

こうした中、当社グループでは、新たなライフスタイルを提案するオンリーワン商品の創出と、これを支える高付加価値デバイスの開発強化に取り組みました。

エレクトロニクス機器では、液晶カラーテレビの一層の売上拡大に向け、フルスペックハイビジョンパネルを採用した４５V型デジタルハイビジョンテレビなど、大型液晶カラーテレビのラインアップをさらに増強しました。また、独自の高付加価値液晶を搭載した第３世代携帯電話や、過熱水蒸気で調理するウォーターオーブンなど、特長商品の拡充に努めました。

一方、電子部品等では、大型液晶カラーテレビ用パネルの安定した供給体制を構築するため、亀山工場の生産能力を増強するとともに、システム液晶を中心としたモバイル機器用の液晶パネルの販売をさらに強化し、液晶事業の一層の拡大に取り組みました。また、太陽電池についても、世界的な需要の増加に対応し、生産体制をより強化するなど、引き続き、積極的な事業活動をグローバルに推進してまいりました。

2年連続で過去最高の売上高・利益を達成しました

その結果、当期の連結売上高は、国内が前期比16.3%増の1兆3,297億円、海外が8.7%増の1兆2,101億円、全体でも12.5%増の2兆5,398億円を達成しました。利益については、営業利益が前期比２４.１%増の1,５１０億円、経常利益が２５.９%増の１,４０５億円、当期純利益は26.6%増の７６８億円と、それぞれ順調な成績を収めることができました。

キャッシュ・フローの状況については、営業活動による資金の増加は2,１９１億円、投資活動による資金の減少は2,５９０億円、また、財務活動の結果取得した資金は５７５億円となり、その結果、現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に比べ１７６億円増加し、2,９５３億円となりました。

単独の業績については、当期の売上高が前期比１５.５%増の２兆８４９億円、営業利益は２７.５%増の1,２４８億円、経常利益は２６.０%増の１,２５６億円、当期純利益は27.5%増の６９６億円となりました。

また、当期の利益配当金につきましては、株主みなさまの日頃のご厚意にお応えするため、1株につき１０円と決定させて頂きました。これにより、中間配当金を含めました年間の配当金は、前期に比べ1株につき2円増配の２０円となります。

お客様と次世代を見つめた企業活動で、さらなる発展と信頼の向上を目指します

今後の見通しでありますが、わが国経済は、引き続き緩やかな回復基調を辿ると予想されますが、原油をはじめとする原材料価格の高騰による企業収益の圧迫や、世界経済の減速による輸出の低迷など懸念される材料も多く、先行き不透明な状況が続くものと思われます。

こうした情勢下、当社グループでは、さらなる飛躍の実現に向け“ オンリーワン戦略 ”を推し進め、収益力の向上と企業価値の増大に努めてまいります。

エレクトロニクス機器では、デジタルハイビジョン時代の本格的な到来に合わせ、液晶カラーテレビの一層の高画質化・高機能化に取り組むとともに、設計や生産技術の革新、徹底したコストダウンの推進により、液晶カラーテレビの競争力向上を図ってまいります。また、独自のデバイス技術を駆使し付加価値を高めた第3世代携帯電話や、健康・環境に配慮した特長ある白物家電など、オンリーワン商品の拡充に取り組んでまいります。

一方、電子部品等では、亀山工場の圧倒的な生産能力と高効率生産体制を最大限に活かし、大型液晶カラーテレビ用パネルの売上拡大を図るほか、モバイル機器用に旺盛な需要が続くシステム液晶についても、生産体制の拡充と一層の高機能化を推し進め、液晶事業の拡大に努めてまいります。また、太陽電池については、生産能力をより増強するとともに、変換効率の向上やコスト低減を図り競争力を強化してまいります。

その他、世界各地域の特性に応じたグローバル事業体制の構築や、新たなモノづくりを支える技術・生産革新への取り組み、ローコスト・オペレーションの推進など積極的な諸施策を展開し、一段と業容の拡大に努めてまいります。加えて、地球環境に配慮した事業活動の推進やコンプライアンス経営の実践、品質・安全性の確保など、企業グループあげてＣＳＲ活動の強化に取り組んでまいります。

平成１７年6月

取締役社長

特　集

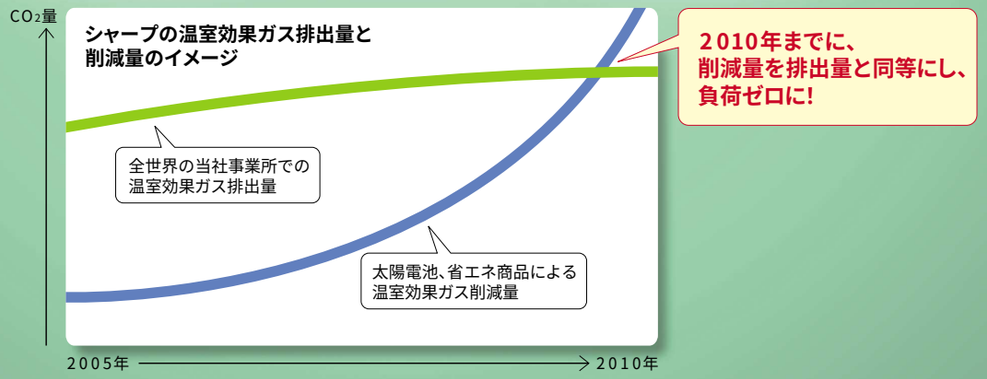
シャープは「温暖化負荷ゼロ企業」を目指します!

当社は、独自の技術で地球環境に貢献するという高い理想のもと、「環境先進企業」を目指すべき企業像としております。これをさらに具体化するために、「2010年温暖化負荷ゼロ企業」を、新たな企業ビジョンとして掲げ、全社で取り組んでまいります。

全世界の事業活動に伴う、CO_2（二酸化炭素）などの温室効果ガスの排出量と、当社製太陽電池の「創エネ」および新商品の「省エネ」効果による温室効果ガスの削減量を、2010年までに相殺しようという構想です。

創エネ・省エネ商品の普及を通じて温室効果ガスを削減

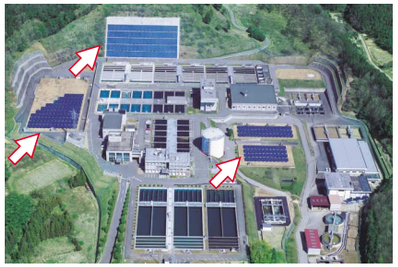
事業活動にともなう温室効果ガスの排出量を積極的に抑制



「創エネ」の太陽電池

太陽電池は、発電時にCO_2を出さないクリーンエネルギーで、世界的に需要が急拡大しています。当社は5年連続で太陽電池生産量が世界一であり、2004年のシェアは27.1%※です。2010年までに、当社製太陽電池を、標準的な住宅用システム（4kW）換算で約110万戸相当分設置いただきますと、温室効果ガス削減量は、当社が排出する量に見合う効果があると試算しています。太陽電池の性能向上や商品力を強化し、一層の事業拡充を図ってまいります。

※米国の専門誌「PVニュース」による

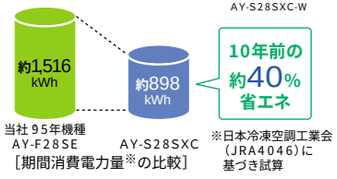


▲当社太陽電池モジュールを採用いただいた、日本でも有数の最大出力790kWの規模を誇る奈良県・御所浄水場

「省エネ」商品の拡大

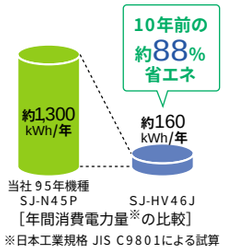
当社が得意とする液晶は、省エネ性の高いデバイスで、これを用いた液晶テレビ「アクオス」は、従来のブラウン管テレビに比べて、大幅な低消費電力化を実現しました。このほか、エアコンや冷蔵庫などの電化機器、デジタル複合機などのオフィス機器など、あらゆる分野で、省エネNo1商品の創出を目指します。

エアコン



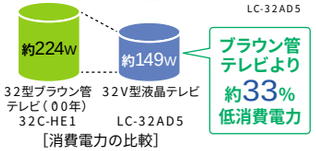
当社95年機種 AY-F28SE　AY-S28SXC
［期間消費電力量※の比較］
※日本冷凍空調工業会（JRA4046）に基づき試算

冷蔵庫



当社95年機種 SJ-N45P　SJ-HV46J
［年間消費電力量※の比較］
※日本工業規格 JIS C9801による試算

液晶テレビ



32型ブラウン管テレビ（00年） 32C-HE1　32V型液晶テレビ LC-32AD5
［消費電力の比較］

温暖化負荷の小さなモノづくりへ

省エネ機器の採用拡大や、天然ガスのコ・ジェネレーションシステム※1による自家発電の導入などにより、エネルギー効率を上げ、事業活動によるCO_2排出の伸びを抑制します。また、液晶や半導体の生産に使用するガスで、温暖化への影響度が高いPFC※2ガスの95%以上の回収除去にも取り組んでいます。

※1 **コ・ジェネレーションシステム（co-generation system）**
自家発電時、廃熱を暖房や給湯などに利用するなど、一種類のエネルギー源から複数のエネルギーを取り出すシステム。

※2 **PFC　パーフルオロカーボン（Per Fluoro Carbon）**
半導体製造工程で使用される代替フロン。オゾン層を破壊しないが、地球温暖化係数が高い。

▲三重第3工場の外壁に設置された太陽電池モジュール
この電力で工場内の照明などをまかないます

トピックス

オンリーワン経営を積み重ね、さらなる発展を目指す

TOPICS 1

ヘルシオが数々の“有力賞”を獲得

新しい過熱水蒸気技術を用いて、「水で焼く」ウォーターオーブン“ヘルシオ”は、「脱油」「減塩」調理を実現し、市場で大ヒットしています。加えて、その「オンリーワン技術」や「成熟商品を成長商品に変えた積極的な取り組み」にマスコミや工業会が注目し、続々と有力賞が与えられました。

賞	主催者
日経優秀製品・サービス賞〈最優秀賞・日本経済新聞賞〉	日本経済新聞社
日刊工業新聞 十大新製品賞〈日本力（にっぽんぢからど）賞〉	日刊工業新聞社
電機工業技術功績者表彰〈会長賞〉	日本電機工業会

▲日経優秀製品・サービス賞の表彰を受ける町田社長

TOPICS 2

太陽電池の実績に「経済産業大臣賞」

第14回「地球環境大賞」（主催:フジサンケイグループ）で、当社は「経済産業大臣賞」を受けました。当社の太陽電池の生産シェアは5年連続で世界一ですが、その普及を通じた世界への環境貢献が高く評価されました。

▲世界的規模で活躍するシャープ太陽光発電システム（ドイツ・バイエルン州）

TOPICS 3

亀山第2工場を建設いたします

亀山工場（三重県亀山市）に、世界初の第8世代大型ガラス基板（2,160mm×2,400mm）を採用した、液晶の最新鋭工場を建設いたします。今後、需要拡大が見込まれる40型以上の大型液晶テレビ市場に向け、パネルの安定供給を図ってまいります。なお、新工場では「オンリーワン生産革新」を進め、第1工場に比べ約2倍の投資生産性（45型換算）を目指しています。

▲亀山工場　第2工場（完成予想図）

■亀山第2工場の概要
- 着 工 時 期：2005年 7月
- 稼 動 時 期：2006年10月
- 設備投資額：約1,500億円（建物、生産設備を含む）

新製品ニュース

新しい魅力を装備して、新製品が続々登場

45V型ハイビジョンパネル搭載、迫力の液晶大画面が身近に

AQUOS

[地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ]

シルバーとブラックの落着きのあるツートンカラーと、親しみやすい柔らかなフォルムの新デザインを採用しました。低消費電力・長寿命はもちろん、高画質、高音質を実現した、最新鋭亀山工場生産の液晶カラーテレビです。

LC-45AE5　希望小売価格 651,000円（税抜価格 620,000円）

大切な情報を守る、ドキュメントセキュリティシステムを搭載

[デジタルフルカラー複合機]

外部からの不正アクセスを防止する機能や、離れた所からプリント操作を行っても、本体で操作指示をするまで保留する機能を搭載し、大切な情報を守ります。更に、「データセキュリティキット」※を装着すると、本体に残ったデータまでも自動的に消去します。 ※ オプション

LIBRE【ソフルカラー】

AR-C262FP　本体希望小売価格 1,879,500円（税抜価格 1,790,000円）

（フルオプション装着時）

温かい料理をそのまま保存

[ワイドフレンチドア冷蔵庫]

作りたてのおいしさを損なうことなく、約55℃で保温できる「愛情ホット庫」※を家庭用冷蔵庫で初めて搭載しました。仕事や勉強で遅くなった夜でも、そのまま温かい料理をお召し上がりいただけます。

愛情ホット庫

※ チルド室、冷凍室としても使えます。

-T ブラウン系

SJ-HV46J-W/T　オープン価格

車やお部屋のFMラジオでも音楽が楽しめます

[デジタルオーディオプレーヤー]

FMラジオにワイヤレスで接続できる「FMトランスミッター」を搭載。ヘッドホンで音楽を楽しむだけでなく、FMラジオの受信可能な車やオーディオ機器でも、お楽しみいただけます。

-W ホワイト系　-R レッド系

MP-A100-W/R　オープン価格

エレクトロニクス機器

AV・通信機器部門

液晶カラーテレビが大型モデルを中心に伸長するとともに、第3世代携帯電話も好調に推移し、売上高は、前期比16.1%増の9,725億円となりました。

主要製品名

- ●液晶カラーテレビ
- ●カラーテレビ
- ●テレビデオ
- ●プロジェクター
- ●デジタル放送受信機
- ●DVDレコーダー
- ●DVDプレーヤー
- ●液晶ビューカム
- ●ビデオデッキ
- ●1ビットデジタルオーディオ
- ●MDプレーヤー
- ●CDステレオ
- ●MDピックアップ
- ●ファクシミリ
- ●電話機
- ●携帯電話機
- ●PHS電話機

電化機器部門

競争の激化や価格下落により厳しい状況が続く中、独自技術を活かした特長商品の拡充を図り、売上高は、前期比1.7%増の2,120億円となりました。

主要製品名

- ●冷蔵庫
- ●電子レンジ
- ●過熱水蒸気オーブン
- ●エアコン
- ●洗濯機
- ●ドラム式乾燥洗濯機
- ●掃除機
- ●石油暖房機器
- ●電気暖房機器
- ●ホームネットワーク制御ユニット
- ●空気清浄機
- ●除湿機
- ●小型調理機器

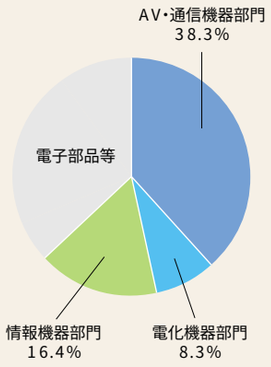
情報機器部門

パソコンは苦戦を強いられましたが、デジタルフルカラー複合機を中心に複写機・複合機が好調に推移し、売上高は、前期比6.0%増の4,163億円となりました。

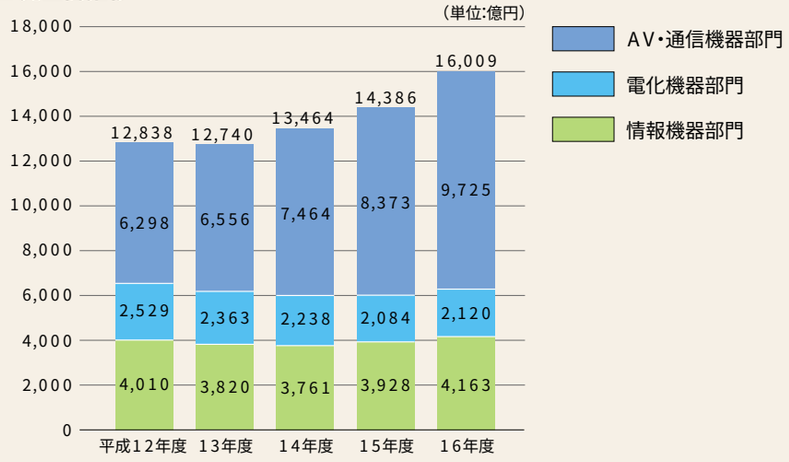
主要製品名

- ●パーソナルコンピュータ
- ●パーソナルモバイルツール
- ●電子辞書
- ●電卓
- ●POSシステム機器
- ●ハンディーターミナル機器
- ●電子レジスタ
- ●ワークステーション
- ●液晶カラーモニター
- ●パソコン用ソフトウェア
- ●デジタル複合機
- ●静電複写機
- ●各種パソコン周辺機器
- ●各種複合機・複写機及びプリンタ用消耗品
- ●FA機器
- ●洗浄機

■ 売上高構成比



■ 売上高推移



（記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。）

電子部品等

IC部門

フラッシュメモリが市場価格の下落の影響を受け低迷し、売上高は、前期比17.0%減の1,409億円となりました。

主要製品名

- ●フラッシュメモリ
- ●複合メモリ
- ●CCD・CMOSイメージャ
- ●液晶用LSI
- ●アナログIC
- ●マイコン

液晶部門

亀山工場の増産により液晶カラーテレビ用パネルが伸長するとともに、携帯電話をはじめとするモバイル機器用の高付加価値液晶が好調に推移し、売上高は、前期比28.9%増の5,438億円となりました。

主要製品名

- ●TFT液晶ディスプレイモジュール
- ●デューティー液晶ディスプレイモジュール
- ●システム液晶ディスプレイモジュール
- ●ELディスプレイモジュール

その他電子部品等部門

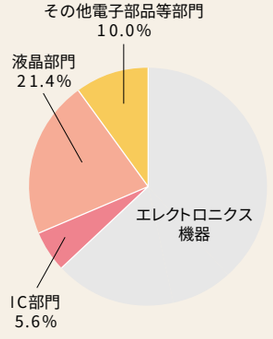
主力の太陽電池が大きく伸長したことから、売上高は、前期比11.9%増の2,542億円となりました。

主要製品名

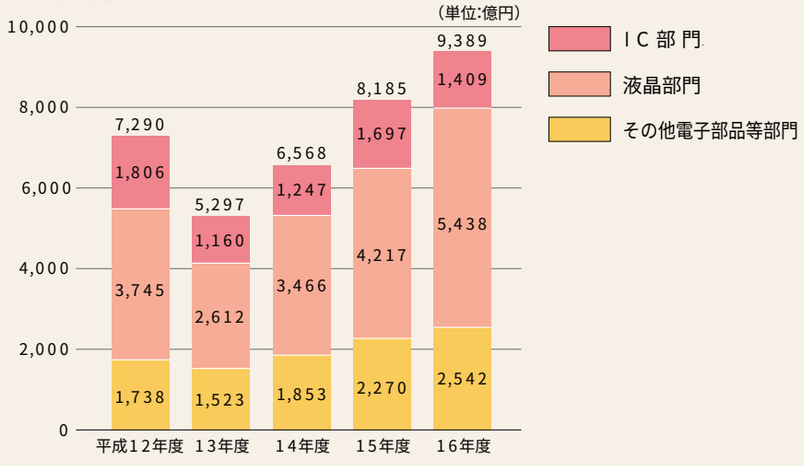
- ●電子チューナ
- ●高周波・赤外線通信ユニット
- ●ネットワーク部品
- ●衛星放送用部品
- ●半導体レーザ
- ●ホログラムレーザ
- ●DVDピックアップ
- ●光半導体
- ●レギュレータ
- ●スイッチング電源
- ●太陽電池
- ●LED

（注）その他電子部品等部門には、家電製品等の信用販売、リース、不動産賃貸及び保険代理業等が含まれております。

■ 売上高構成比



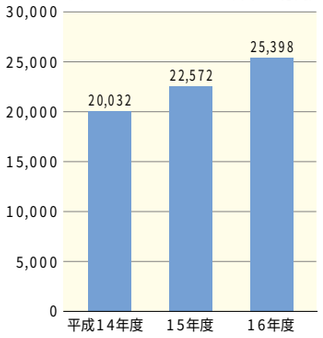
■ 売上高推移



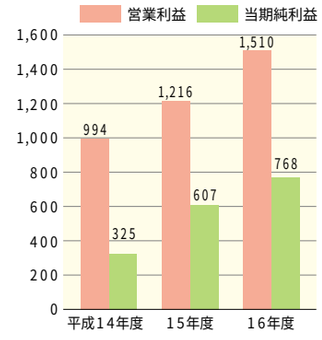
（記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。）

連結決算

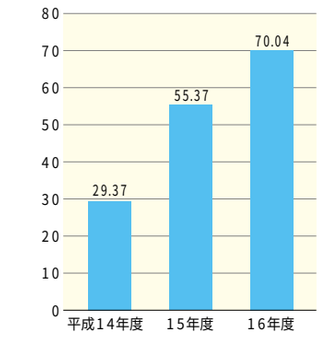
■ 売上高 （単位：億円）



■ 営業利益・当期純利益 （単位：億円）



■ 1株当たり当期純利益 （単位：円）



連結貸借対照表の要旨（平成17年3月31日現在）

（単位:百万円）

資産の部		負債の部	
流動資産	1,320,613	流動負債	1,179,521
現金及び預金	370,618	支払手形及び買掛金	519,691
受取手形及び売掛金	451,091	短期借入金	136,595
有価証券	21,503	コマーシャルペーパー	165,737
たな卸資産	325,723	引当金	37,871
その他	151,678	その他	319,627
固定資産	1,064,413	固定負債	192,291
有形固定資産	833,882	社債	66,800
建物及び構築物	550,368	長期借入金	63,165
機械装置及び運搬具	1,093,746	退職給付引当金	25,009
その他	553,677	その他	37,317
減価償却累計額	△1,363,909	負債合計	1,371,812
無形固定資産	37,527	少数株主持分	8,888
投資その他の資産	193,004	資本の部	
投資有価証券	122,815	資本金	204,676
その他	70,189	資本剰余金	262,283
		利益剰余金	605,440
		株式等評価差額金	13,333
		為替換算調整勘定	△ 55,346
		自己株式	△ 26,060
		資本合計	1,004,326
資産合計	2,385,026	負債、少数株主持分及び資本合計	2,385,026

連結損益計算書の要旨

（自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日）

（単位:百万円）

売上高	2,539,859
売上原価	1,959,658
販売費及び一般管理費	429,181
営業利益	151,020
営業外損益	△ 10,509
経常利益	140,511
特別損益	△ 12,327
税金等調整前当期純利益	128,184
法人税、住民税及び事業税	62,795
法人税等調整額	△ 12,364
少数株主利益（控除）	908
当期純利益	76,845

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

（自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日）

（単位:百万円）

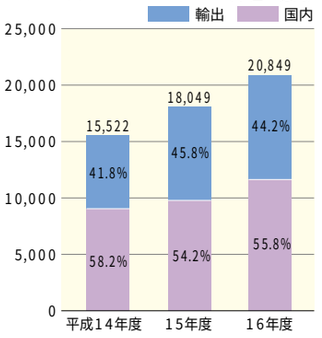
営業活動によるキャッシュ・フロー	219,198
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 259,008
財務活動によるキャッシュ・フロー	57,541
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1,015
現金及び現金同等物の増加額	16,716
現金及び現金同等物の期首残高	277,623
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	970
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	3
現金及び現金同等物の期末残高	295,312

（注） 連結子法人等の数 47社 持分法適用会社数 11社

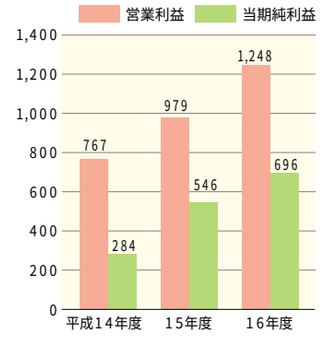
（記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております。）

単独決算

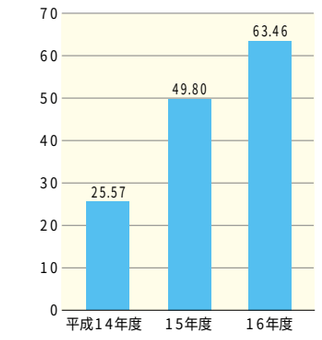
■ 売上高 （単位：億円）



■ 営業利益・当期純利益 （単位：億円）



■ 1株当たり当期純利益 （単位：円）



貸借対照表の要旨（平成17年3月31日現在）

（単位:百万円）

資産の部		負債の部	
流動資産	913,357	流動負債	862,180
現金及び預金	333,738	支払手形	10,279
受取手形	149	買掛金	404,076
売掛金	317,447	短期借入金	27,501
たな卸資産	138,375	コマーシャルペーパー	130,000
その他	123,646	引当金	26,010
固定資産	1,030,154	その他	264,313
有形固定資産	708,374	固定負債	107,119
建物	218,497	社債	50,000
機械装置	297,426	長期借入金	40,001
その他	192,449	退職給付引当金	17,118
無形固定資産	30,638	負債合計	969,300
投資その他の資産	291,141	資本の部	
子会社株式・出資金	163,507	資本金	204,675
その他	127,633	資本剰余金	262,283
		資本準備金	261,415
		その他資本剰余金	867
		利益剰余金	520,676
		利益準備金	26,115
		任意積立金	412,708
		当期未処分利益	81,853
		株式等評価差額金	12,636
		自己株式	△ 26,060
		資本合計	974,211
資産合計	1,943,511	負債及び資本合計	1,943,511

（注）1. 有形固定資産の減価償却累計額 1,222,656百万円
2. 商法施行規則第124条第3号に規定する純資産額 12,636百万円

損益計算書の要旨

（自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日）（単位:百万円）

売上高	2,084,928
売上原価	1,731,931
販売費及び一般管理費	228,105
営業利益	124,891
営業外損益	795
経常利益	125,687
特別損益	△ 12,206
税引前当期純利益	113,480
法人税、住民税及び事業税	50,900
法人税等調整額	△ 7,100
当期純利益	69,680
前期繰越利益	23,084
中間配当額	10,911
当期未処分利益	81,853

（注）1株当たり当期純利益 63円46銭

利益処分の要旨

（単位:百万円）

当期未処分利益	81,853
固定資産圧縮積立金取崩額	98
計	81,951
これを次のとおり処分します。	
配当金（1株につき10円）	10,910
取締役賞与金	409
監査役賞与金	31
特別償却準備金	2,368
別途積立金	46,000
計	59,718
次期繰越利益	22,232

（注）その他資本剰余金は、全額を次期に繰り越すことといたしました。

（記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。）

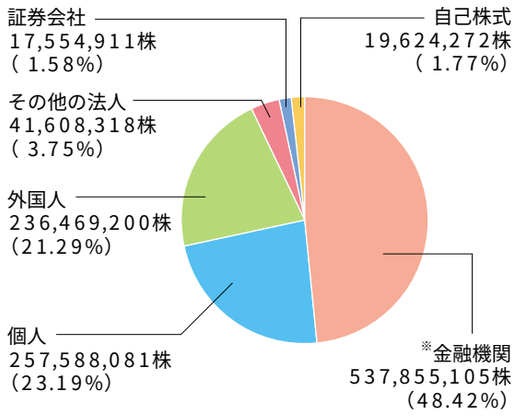
株式の状況 （平成17年3月31日現在）

発行済株式の総数 1,110,699,887株
当期末現在の株主数 121,426名
大株主

株主名	所有株式数（株）	持株比率（%）
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	58,639,000	5.28
日本生命保険相互会社	52,967,384	4.77
明治安田生命保険相互会社	47,359,000	4.26
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	46,649,000	4.20
株式会社みずほコーポレート銀行	32,410,469	2.92
第一生命保険相互会社	30,704,140	2.76
三井住友海上火災保険株式会社	30,658,022	2.76
株式会社損害保険ジャパン	26,870,000	2.42
株式会社UFJ銀行	20,071,526	1.81
シャープ従業員持株会	19,152,562	1.72

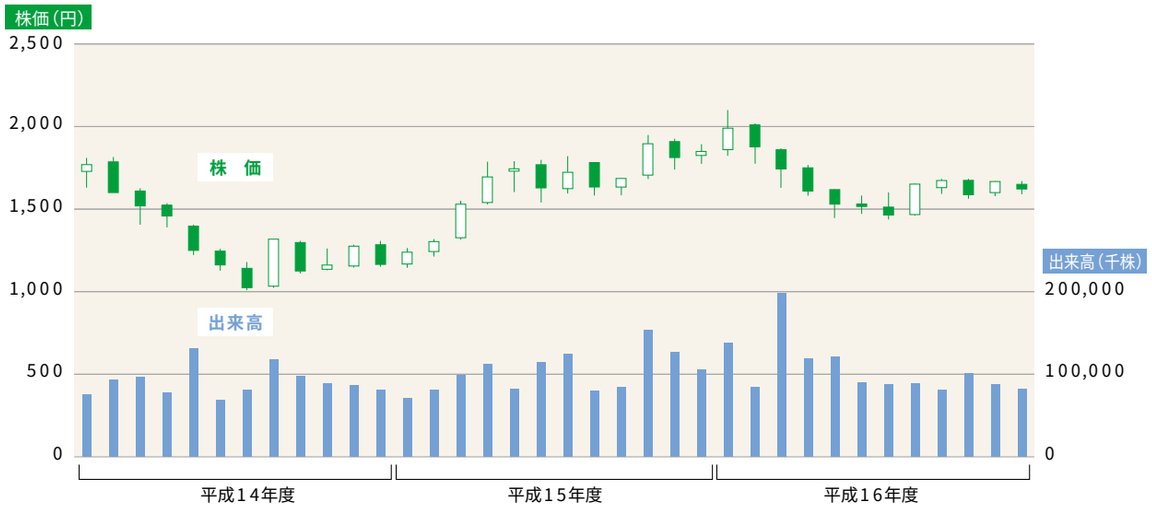
（注）1.株式会社みずほコーポレート銀行には、上記以外に退職給付信託に係る信託財産として設定した株式が 4,770,000株あります。
2.上記以外に当社所有の自己株式が19,624,272株あります。

所有者別分布状況 （発行済株式総数に対する割合）



※投資信託・年金信託に係る株式数が83,359,000株（7.50%）含まれております。

株価の推移



役員 （平成17年6月23日現在）

取締役社長	町田勝彦	常務取締役	片山幹雄	取締役	貫井孝
取締役副社長	佐治寛	常務取締役	安達俊雄	取締役	千葉徹
専務取締役	熊谷祥彦	取締役	中川敬	取締役	水嶋繁光
専務取締役	濱野稔重	取締役	加藤逸朗	取締役	高森浩一
専務取締役	大塚雅章	取締役	佐野良樹	取締役	長谷川祥典
専務取締役	御手洗顕	取締役	奥田隆司		
専務取締役	中武成夫	取締役	大西徹夫	常勤監査役	権田知弘
専務取締役	太田賢司	取締役	藤本俊彦	常勤監査役	岩﨑光彦
専務取締役	松本雅史	取締役	大河原卓次	監査役	石井通洋
常務取締役	井淵良明	取締役	富田孝司	監査役	中門弘

株主メモ

決算期 毎年3月31日
定時株主総会 毎年6月
配当金支払株主確定日 利益配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
基準日 毎年3月31日
（定時株主総会において議決権を行使すべき株主の確定日）
そのほか、必要ある場合は取締役会の決議によりあらかじめ公告いたします。
公告掲載紙 日本経済新聞
※平成14年度より、決算公告に代えて貸借対照表及び損益計算書を当社ホームページに掲載しております。（http://www.sharp.co.jp/kessan_koukoku/）
上場証券取引所 国内：東京、大阪、名古屋、福岡、札幌
海外：パリ、ルクセンブルグ、スイス

名義書換代理人 東京都中央区八重洲1丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所（お問い合わせ先） 〒530-0057
大阪市北区曾根崎2丁目11番16号
みずほ信託銀行株式会社
大阪支店 証券代行部
電話 0120-288-324
（フリーダイヤル）

同取次所 みずほ信託銀行株式会社
本店及び全国各支店
みずほインベスターズ証券株式会社
本店及び全国各支店

住所、氏名、届出印などの変更届、配当金振込指定書、単元未満株式の買取請求書及び買増請求書は、上記名義書換代理人へのお電話によるご請求のほか、次の専用ホームページ お手続内容 ”でも出力ができますのでご利用ください。
（http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/）
（証券保管振替制度をご利用の方は、お取引のある証券会社へご照会ください。）

拠点紹介　25ヵ国62ヵ所に海外拠点。シャープは国際社会の発展に貢献します。

■ 国内の主要拠点

● **本社**〈大阪市・阿倍野〉

● **総合開発センター/技術本部**〈奈良県・天理〉

● **東京支社**〈千葉市・幕張〉

● **東京市ヶ谷ビル**〈東京都・市谷〉

● **名古屋ビル**〈名古屋市・中川〉

● **AVシステム事業本部**〈栃木県・矢板〉

● **電化システム事業本部**〈大阪府・八尾〉

● **通信システム事業本部**〈広島県・東広島〉

● **情報通信事業本部**　● **ドキュメントシステム事業本部**
〈奈良県・大和郡山〉

● **ソーラーシステム事業本部**　● **電子部品事業本部**
〈奈良県・葛城〉

● **電子部品事業本部 三原事業所**〈広島県・三原〉

● **IC事業本部**〈広島県・福山〉

● **モバイル液晶事業本部**〈三重県・多気〉

● **AVC液晶事業本部**〈三重県・亀山〉

■ 海外の技術開発拠点

● **シャープアメリカ研究所 SLA**
シャープ・ラボラトリーズ・オブ・アメリカ
● **SECの電子部品販売会社 SMA**
シャープ・マイクロエレクトロニクス・オブ・ザ・アメリカズ
〈ワシントン州 カマス〉

● **シャープヨーロッパ研究所 SLE**
シャープ・ラボラトリーズ・オブ・ヨーロッパ
〈イングランド地方 オックスフォード〉

■ 海外の主要拠点

● **アメリカの販売会社 SEC**
シャープ・エレクトロニクス・コーポレーション
〈ニュージャージー州 マーワー〉

● **アメリカの販売会社 SECのロスアンジェルス支店**
〈カリフォルニア州 ハンティントンビーチ〉

● **アメリカSECの生産事業本部 SMCA**
シャープ・マニュファクチャリング・カンパニー・オブ・アメリカ
〈テネシー州 メンフィス〉

● **カナダの販売会社 SECL**
シャープ・エレクトロニクス・オブ・カナダ・リミテッド
〈オンタリオ州 ミシソガ〉

● **メキシコの生産会社 SEMEX**
シャープ・エレクトロニカ・メキシコ・エス・エー・デ・シー・ブイ
〈バハカリフォルニア州 ロサリト〉

● **イギリスの販売会社 SUK**
シャープ・エレクトロニクス・ユーケー・リミテッド
〈イングランド地方 マンチェスター〉

● **イギリスSUKの生産事業本部 SUKM**
シャープ・マニュファクチャリング・カンパニー・オブ・ユーケー
〈ウェールズ地方 レクサム〉

● **ドイツの販売会社 SEEG**
シャープ・エレクトロニクス・ヨーロッパ・ゲーエムベーハー
〈自由ハンザ都市 ハンブルク〉

● **フランスの生産会社 SMF**
シャープ・マニュファクチャリング・フランス・エス・エー
〈アルザス地方 スルツ・オーラン〉

● **スペインの生産・販売会社 SEES**
シャープ・エレクトロニカ・エスパーニャ・エス・エー
〈カタルニア自治州 バルセロナ〉

● **アラブ首長国連邦の販売会社 SMEF**
シャープ・ミドルイースト・フリーゾーン・エスタブリッシュメント
〈ドバイ〉

● **オーストラリアの販売会社 SCA**
シャープ・コーポレーション・オブ・オーストラリア
〈ニュー・サウスウェールズ州 ブラックタウン〉

● **中国の生産会社 SSEC**
上海夏普電器有限公司
〈上海〉

● **中国の生産会社 SSMC**
上海夏普模具工業控制系統有限公司
〈上海〉

● **中国の生産会社 NSEC**
南京夏普電子有限公司
〈江蘇省 南京〉

● **中国の生産会社 SOCC**
夏普弁公設備（常熟）有限公司
〈江蘇省 常熟〉

● **中国の生産会社 WSEC**
無錫夏普電子元器件有限公司
〈江蘇省 無錫〉

● **韓国の生産会社 SKC**
シャープ・コーリア・コーポレーション
〈仁川〉

● **台湾の生産会社 SET**
シャープ・エレクトロニクス・タイワン
〈高雄〉

● **タイの生産会社 SATL**
シャープ・アプライアンシズ・(タイランド)・リミテッド
〈チャチャンサオ州 アンパーバンパコン〉

● **タイの生産会社 SMTL**
シャープ・マニュファクチャリング・(タイランド)・リミテッド
〈ナコンパソム州 ナコンチャイシー〉

● **マレーシアの生産会社 SRC**
シャープ・ロキシー・コーポレーション
〈ケダ州 スンガイペタニ〉

● **マレーシアの生産会社 SREC**
シャープ・ロキシー・エレクトロニクス・コーポレーション
● **生産会社 SMM**
シャープ・マニュファクチャリング・コーポレーション
〈ジョホール州 パドパハ〉

● **マレーシアの設計開発・部品供給会社 SEM**
シャープ・エレクトロニクス・マレーシア
● **販売会社 SRSSC**
シャープ・ロキシー・セールス・アンド・サービス・カンパニー
〈セランゴール州 シャーラム〉

● **インドネシアの生産会社 SSI**
シャープ・セミコンダクター・インドネシア
〈西ジャワ州 カラワン〉

SHARP

［表紙写真］

地球環境とリビング環境に配慮した、新型「アクオス」

液晶ならではの低消費電力３１５Wを４５V型で実現したアクオス〈LC-４５AE５〉。液晶パネル自体の性能劣化がほとんどなく、バックライトは６万時間の長寿命設計。プリント基板に無鉛はんだを使用したり、本体だけでなく、取扱説明書や梱包材にも再生材を採用するなど、地球とリビングにうれしい設計です。

会社の概要

社　　名　シャープ株式会社
SHARP CORPORATION

所 在 地　［本　　社］　〒５４５-８５２２　大阪市阿倍野区長池町２２番２２号
電話（０６）６６２１-１２２１（大代表）

［東京支社］　〒２６１-８５２０　千葉市美浜区中瀬1丁目９番地の２
電話（０４３）２９７-１２２１（大代表）

創　　業　大正元年9月15日

資 本 金　2,０４６億7,５５１万8,２３８円（平成１７年３月３１日現在）

従業員数　２２,８３８名（平成１７年３月３１日現在）

インターネットホームページアドレス　http://www.sharp.co.jp/

この報告書は１００%再生紙と、石油系溶剤（VOC成分）を全く含まない環境配慮型の大豆油インキを使用しております。
また、安全性への配慮から、留め金を使わず、糊綴じで製本しているので、分別せずにリサイクルすることができます。

Non VOC

古紙配合率100%再生紙を使用しています。